

令和元年第4回定例会一般質問 ～本会議2日目 令和元年12月17日～
議事録（抜粋）

1 やる気スイッチ等教育施策の実践とリーダーシップについて

○松本議員

おはようございます。

それでは順位に基づき、質問をさせていただきます。

1 やる気スイッチ等教育施策の実践とリーダーシップについてですが、6月、9月議会より、学ぶことと夢とがリンクしていない児童が多いという本市の特性から、児童の学ぶことの動機付け即ちやる気スイッチ、そのモチベーションの維持、適切な環境の提供の3要素、そして承認欲求を満たす心のアプローチが必要という認識で一致させて頂きました。

それを踏まえ、具体的施策が必要ですが、どうお考えかお聞かせ下さい。

○村上議長

教育次長

○北野教育次長

「児童生徒の学習意欲を向上させるための具体的施策」についてのご質問にお答えいたします。

教育委員会としましては、児童生徒をやる気にさせる、すなわち学習意欲を向上させるためには、承認欲求を満たすための具体的な取り組みが必要であると捉えております。

例えば、先日第五中学校で「魅力ある学校づくり調査研究事業」の研究発表会が実施され、中学校区の小中学校で取り組まれている「当たり前のことを当たり前で頑張る姿」を認めることや自主的な活動である児童会、生徒会活動による「自己有用感」の向上が、不登校の未然防止や児童生徒の意欲の向上につながるということについて報告され、大阪府教育長からも評価されたところでございます。

このような先進校の事例を校長会、教頭会や教員等に対して紹介するとともに、学力向上や集団づくり等の研修会を通して、各学校が児童生徒の「自己有用感」の向上に向けて具体的に取り組めるよう指導して参ります。

○村上議長

松本議員。

○松本議員

これ以降は一問一答形式でお願いします。

まずやる気スイッチ等教育施策についてですが、是非、行動して頂きたいと思えます。ただ、これには学校、地域、家庭の連携が重要になります。校長先生や保護者、地域の方と話すとき課題認識がずれていると多々感じています。同じ認識を持たなければ必要な協力は得られません。

連携には課題認識の共有が必要不可欠です。これについてどうお考えかお聞かせ下さい。

○村上議長

教育次長

○北野教育次長

議員ご指摘の通り、学校、地域、家庭が連携して子供たちを育てるためには、情報共有や課題の共通認識が重要であり、そのためにはまず学校から発信することが重要であると考えております。

現在各学校は、学校の取り組みや子供たちの授業の様子、学力の状況などを学校だよりやWebページなどを活用して、地域、家庭へ発信しております。例えば、全国学力・学習状況調査の結果分析を学校の取り組みと合わせ、地域、家庭に公表し、子供たちの学力や学習状況等お知らせし、情報共有を図っております。

今後も学校、地域、家庭との課題認識がずれないように、情報共有し、学校協議会や学校教育に対する保護者アンケートなどを活用し、学校の取り組みに生かすよう指導して参ります。

○村上議長

松本議員。

○松本議員

一層、課題認識の共有を図るべきであります。

また、学校間の取り組みの情報共有と実行も重要です。味生小学校の保護者との対話の取組み、別府・味舌小学校の地域への情報発信、摂津小学校や第5中学校の心のアプローチを意識した教育等々と色々と良い施策を行っていますが、どの学校も総じて必要なものではないでしょうか。どうお考えかお聞かせ下さい。

○村上議長

教育次長

○北野教育次長

先ほど、ご答弁申し上げました第五中学校での研究発表会では、市内の全小中学校はもとより、府内からは29市町、全国からは、青森県や山形県をはじめ各地より260名を超える方々に来校いただき、「自己有用感の向上」によって不登校等問題行動の未然防止や学習意欲の向上について、取り組みの好事例を発信いたしました。

本市では全小中学校で研究事業等を実施し、取り組みの発信をしております。このような先進的な取り組みの共有は、各学校の教育課題の解決につながるものだと捉えております。

今後も、本市の子供たちの「家庭学習の定着」や「学習意欲の向上」などに焦点を当て各校の取り組みの好事例を広めることで課題解決に努めて参ります。

○村上議長

松本議員。

○松本議員

是非、学習意欲向上等に焦点をあて全校の向上に努めて頂き、例えば先ほど仰られた全国で評価される第5中学校の取組みを本市小中学校に一層促進すべきです。

また、この学校間の連携した教育には校長先生のマネジメントが重要になりますが、どうお考えかお聞かせ下さい。

○村上議長

教育次長

○北野教育次長

ご指摘のとおり、校長のマネジメント力は、各校の連携した教育のみならず、学校経営全般にわたり重要であると認識しており、これまでも、学校経営計画に関わるヒアリング等を実施し、教育長はじめ教育委員が、学校経営に関して、指導、助言して参りました。

今後数年間で多くの校長が退職する状況からも、管理職のマネジメント力の向上、リーダーシップの醸成は重要であり、課題であると捉えております。

教育委員会としましては、学校経営における効率的な取り組みについて各学校が実施できるよう指導していくとともに、管理職のマネジメント力の向上に向けて、校長のみならず、教頭及びミドルリーダーに対する研修を実施して参ります。

○村上議長

松本議員。

○松本議員

校長先生のマネジメントを含め学校経営をしっかりとサポートして頂ければと思います。そしてオール摂津での課題解決には教育長のさらなるリーダーシップが不可欠であります。

6月からの議論も踏まえ、教育長にリーダーシップの発揮についてお考えをお聞かせ頂きたいと思っております。

○村上議長

教育長

○箸尾谷教育長

学習のみならず、部活動や生徒会活動等、学校生活の様々な場面です。子どもたちにやる気を起こさせる、議員がずっとご指摘頂いております、やる気スイッチをを起こさせるためにはですね、まず子どもたち一人ひとりに自信を持たせることが、有効であると先ほどらいからご答弁申し上げている第五中学校の取り組みからも明らかになってきていると思っております。

第五中学校の取り組みが、どうしてこう成果を上げることができたのかということ、私なりに分析しますとですね、やはり学校全体、教職員全員がですね一致して取り組むことができたことが、大きな要因ではないかなというふうに思っています。一担任がですね、自分のクラスで取り組むだけではなく、教職員が一致して全学級で、取り組むことができたのが、成果に結びついたものであり、そこにはですね校長の強いマネジメントが働いたものと考えております。

私は教育長としてこれまでから、先ほどありました校長による学校経営計画の策定と教育委員会でのプレゼンテーションの実施やあるいは保護者向けの、保護者、市民向けのフォーラムで、校長に学校紹介をさせるなどの取り組みを提案して、実施して参りました。これらは校長に厳格な学校経営のビジョンを策定させるとともに、校長の発信力を向上させることで、マネジメント力を強める、高めることが目的でございます。

今後ですね、本市の教育課題やあるいは次世代を担うですね子どもたちのために、私も適切にリーダーシップを発揮しながら、教育行政を推進して参りたいと考えています。

○村上議長

松本議員。

○松本議員

ありがとうございます。子供たちは環境を選べません。子供たちが夢を実現するためのより良い教育環境を提供することは大人の責務であります。特に本市の特性を踏

まえ教育長のリーダーシップというものが非常に重要になると認識をしております。しっかりとリーダーシップを発揮して頂き、本市教育課題の解決に鋭意邁進されることを強く要望致します。

(音声データ等より作成)

<その他の質問項目>

- 2 健都における明和池公園の価値向上について
- 3 本市に活力をもたらす中小企業の活性化について
- 4 共感を得るふるさと納税の検討状況について
- 5 防災と地域の核となる旧三宅スポーツセンターの空間価値の重要性について
- 6 防災サポーターの取組みと普及について